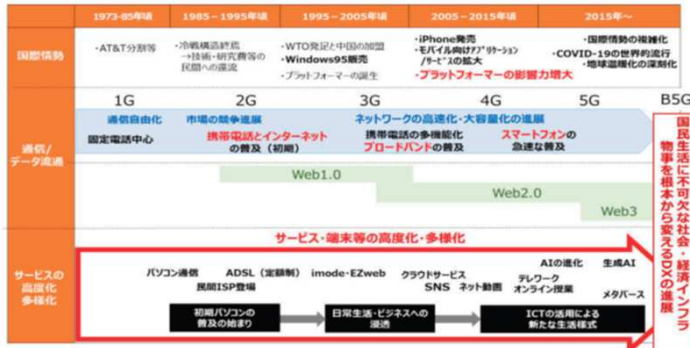


県民意見提出制度による提出意見とそれに対する県の考え方

「山梨県総合計画 2023年策定版」(素案)

No.	箇所	意見の内容	意見数	意見に対する県の考え方 (対応方針)
1	第2章 長期的展望 1 時代の潮流と山梨県の現状 (6) デジタル技術の進化	表題のデジタル技術とICTの関係が分かりにくくなっているように感じました。国のデジタル社会重点計画(p63)では、「ICT等のデジタル技術」という表現を用いているようですので、初出については、それに合わせたらいかがでしょうか。	1	【修正加筆等意見反映】 第2章長期的展望 1時代の潮流と山梨県の現状 (6)デジタル技術の進化の記載を次のとおり修正します。 「ICT等のデジタル技術」
2	第2章 長期展望 3 2040年の山梨県の将来像 (6) 人口の将来展望(人口ビジョン)	国力の源泉たる人口の見通しを示すという点で、2040年の長期的展望を示す価値はあるとは思いますが、社会は加速度的に変化しているため、長期的な将来を予測することは困難であることを計画内に記載した方がよいのではないかと。(近年、過去とは比べ物にならない程長期的な将来予測が立たない社会になってきている。)	1	【反映困難】 総合計画に位置づける全ての施策の推進により人口減少対策の効果を上げられるよう努めていくこととしており、人口の将来展望は、現状分析を踏まえ、政策課題への対応が発見した場合の本県人口を展望したものです。 なお、施策の具体化と展開に当たっては、常に変化する「将来への想像」を重ねることで、予測を超えた社会経済情勢に変化に対しても施策効果の確保に努めて参ります。
3	第2章 長期的展望 1 時代の潮流と山梨県の現状 (6) デジタル技術の進化	「1時代の潮流と山梨県の現状」の「(6) デジタル技術の進化」に、社会の変化が速い(=デジタルテクノロジーの進歩が速い)という状況をデータで示した方がよいのではないかと。	1	【修正加筆等意見反映】 第2章長期的展望 1時代の潮流と山梨県の現状 (6)デジタル技術の進化に次の図表を追加します。 
4	第2章 長期的展望 3 2040年の山梨県の将来像	GAI(生成AI)・AGI(汎用型人工知能)に関する将来像を描いた方がよいのではないですか。今後4年間でGAIの利用は相当進むことが想定されます。自民党AIプロジェクトチームでもホワイトペーパーを策定していますが、山梨県としてもGAI利用の方向性(せめて調査研究など)を打ち出す必要があるのではないかと。	1	【実施段階検討】 ChatGPT等の生成AI技術は様々な利点をもたらす一方で、機密情報の取扱いや個人情報の保護といった面で課題があるとの指摘もあり、利用の是非について官民を問わず活発な議論が行われているところです。 こうした動向を参考にしつつ、県庁内での活用について、若手職員を中心としたワーキンググループを設置し、新しい技術の利点と課題を見極めながら、活用の可能性がある業務分野や有意義な活用方法について研究を進めています。 GAI(生成AI)・AGI(汎用型人工知能)に関する将来像等については、今後検討して参ります。
5	第3章 アクションプラン 1 基本理念実現のための政策体系 戦略4 躍動する「やまなし」へ進む道 政策2 教育の充実	ヒトに求められるスキルが変化することが明白であり、GAI活用を前提に学校教育をどうするべきかという、ICT教育とは比べ物にならない次元の教育改革が必要となる可能性があり、その検討などについて触れる必要があるのではないかと。	1	【実施段階検討】 教育現場における生成AIの活用については、教育の新たなツールの一つとして捉え、必要な情報リテラシーなど情報活用能力の習熟を進めていくながら、授業や学校の働き方改革などでの活用を試行していくこととしています。 ご意見は今後の取り組みの参考とさせていただきます。
6	第2章 長期展望 3 2040年の山梨県の将来像 (2) 活力ある「やまなし」	リスクリングの機会が提供される対象は「全ての働く人」という表現で適切ですか。現在働いていない方(主婦、主夫、いわゆるニートなど)も対象となるのであれば、より適切な表現があると思いますので、変更した方がよいのではないかと。	1	【反映困難】 リスクリングの機会が提供される方を、「働いている方」及び「働くことを目指す方」としており、「全ての働く人」という表現にしています。

No.	箇所	意見の内容	意見数	意見に対する県の考え方 (対応方針)
7	第3章 アクションプラン 2 行財政改革の取り組み	<p>数年前に県会議員の皆様によりハンコ議連を立ち上げていただきました。その時の県の作成した資料に印章に関する企画展の開催という案がありました。実現していただき、本年の3月より5月まで金印の展示もあり13,000人以上の方が県立博物館に来館いただいたと聞きます。</p> <p>これが成功か、まだまだやる事もあったのかと言えば、私は後者であります。しかしながら、学芸員の皆様の努力には頭が下がる思いであります。県及び担当者の皆様にも感謝しております。</p> <p>さて、この企画、業界が知ったのは昨年春先でした。その時は、殆ど99%は決まっていました。</p> <p>この間、数年、業界の窓口であります産業振興課からの情報もなく(産業振興課も知らなかったと言っておりました)、問題は県庁内部での情報の共有がなされていない事であると思われました。</p> <p>共有がされておれば、もっと時間もあり、業界の要望が反映されていたかもしれません。また、観光課や他の部門との共有がなされていればさらに大きなビッグイベントになりえた可能性もあり、印章の山梨をもっと効率的に全国区レベルのPRが出来たと思います。</p> <p>1つのイベント(政策)をつくりあげる現場、その事の情報共有する事により、その事業が、いろんなノウハウや発想を持つ部門と連携でき、業界も含め、さらに大きな効果が得られるのにと私は思いました。セクト主義もあるかもしれませんが、この原因は、縦割り行政の弊害であり、職員の意識の問題だと思います。</p> <p>国のマイナンバーカードで起きている事ですが、デジタル庁、厚生省、総務省等へのたらい回しは国民からの信頼を失っています。縦割りの弊害の最たる例です。</p> <p>是非、山梨は全国に先駆けて『縦割り行政からの脱皮』を政策の一つとして考えて欲しいと思っています。県庁の職員は課の一つの事には優秀でも、総合プロデューサーのような事は苦手のように思えます。</p> <p>仕組みとして取り組むべき課題だと思います。</p>	1	<p>【記載済み】</p> <p>第3章アクションプラン 2行財政改革の取り組みにおいて、「すべての県職員が、日常の業務の中で、現場における様々な声をしっかりと把握し、豊かさを共に築いていくために自ら果たすべき役割を考え、「トップダウン」と「ボトムアップ」の健全な循環により、スピードを一層高め、次の世代への「レガシー」となる付加価値の高い施策を実行していく」こととしています。</p> <p>また、第3章アクションプラン 3計画の推進において、「様々な分野に政策効果を波及させるため、計画に掲げられた施策について、関係部局間の緊密な連携を図りながら、効率的・効果的に実施していく」旨を記載しており、連携して施策を展開して参ります。</p>
8	第3章 アクションプラン 1 基本理念実現のための政策体系 戦略5 先進地「やまなし」を叶える道 政策2 文化・芸術の振興	<p>スポーツの振興というテーマの政策は表記があっても音楽の振興というテーマは残念ながらありません。全国的にも少ないと感じています。</p> <p>歌謡曲やロック等々は、文化とは縁遠いものとしてとらえているのかもしれませんが。しかしながら、一般の庶民はカラオケで代表されるようなものが生活の潤いになっている事も間違いありません。音楽は文化芸術の部門と考えているのか分かりませんが、その施策をみても庶民の殆どが接している音楽とは掛け離れているように思えます。</p> <p>県の考えている文化とは音楽という観点から言うとしたらどんな事をおもっているのでしょうか？ おそらく、雅楽とかクラシックとか一般庶民とは少し距離感のある音楽が頭にあるように思えます。こういった音楽のジャンルもわかるのですが歴史的には恵まれた富裕層の為のものでした。今の時代音楽は庶民の生活に無くてはならない、穏やかで心豊かに暮らせる最も必要なものになってきています。そういった意味でも文化伝統という部類でなく、音楽というジャンルとして独立した政策として組み入れて欲しいと望んでいます。</p> <p>音楽のジャンルは1,000以上あると思います。音楽に関わっている人、音楽ビジネスも含め、県民全員が関わっていると聞いていいと思います。生まれたあかちゃんには童謡があります。私の母は認知症でしたが、寝たきりの末期でも桜を歌うと、記憶のどこかにあるらしくさくらさくらと囁いた事を思い出します。全県民が、生まれた時から関わっている音楽というものに焦点を当てて県政という中で音楽の位置づけを検討して欲しいと思う県民の一人です。</p> <p>スポーツの振興という部門があるなら、音楽の振興という部門があってもいいのではないかと思います。</p> <p>音楽による街づくり・音楽が溢れる街に暮らす楽しさ&魅力・音楽に国境はない(平和・国際交流)・音楽を通してマトリックス的に考えればあらゆる分野に関連性があると思いませんか！</p> <p>私的には『音楽の溢れる街づくりの創造』というテーマを持っています。</p> <p>構想としては、山梨の音楽に関するデータの収集とデータ化です。</p> <p>そして、その皆様と議論起こし、いろんな意見を聞き、その実現性、優先順位、行政と県民とで音楽の溢れる街づくりの構想を政策として表現していただきたいと思います。</p> <p>例えば、山梨の大学に音楽の専門課程を導入する。アメリカのバークレーのようにJAZZに特化してもいいと思います。一学年100人学生で4年後には400人以上の人口増にもなります。山梨学院がいいと思います。</p> <p>国中に野外で雨が降っても演奏会ができるような施設も欲しいです。</p> <p>県民なら誰でも利用でき、録音もできるスタジオも、いろいろなニーズがあると思いますし、リニア、中央道等の導線による音楽のまちづくり構想によっては新しい山梨の観光政策にもなり、甲府の中心街の活性化では、毎週土日に路上ライブで、街角に音楽が流れるような街、人が集う街の創造に音楽というジャンルの政策の導入をご検討をお願いいたします。</p> <p>音楽の振興を総合計画へ検討ください。</p>	1	<p>【実施段階検討】</p> <p>第3章アクションプラン 戦略5 先進地「やまなし」を叶える政策2文化・芸術の振興において、日常的に文化や芸術を親しめる環境を整備することとしており、文化・芸術の一つとして、音楽についても振興に努めているところです。</p> <p>今後、県民の皆様が音楽に親しむ機会の充実を図る際の参考にさせていただきます。</p>
9	第2章 長期展望 3 2040年の山梨県の将来像 (5) 先進地やまなし	<p>建設業、農林業、サービス業等あらゆる分野において、AI やビッグデータ、ドローン、自動運転等の活用が進み、業務の効率化により担い手不足が解消するとともに、人間と機械との協業により、ものづくりやサービスが高度化していますとあるが、DXという言葉を入れた方が良くはないか。</p>	1	<p>【修正加筆等意見反映】</p> <p>第2章 長期展望 3 2040年の山梨県の将来像 (5)先進地やまなしの内容に以下の語句を追加します。</p> <p>「によるDX」</p>

No.	箇所	意見の内容	意見数	意見に対する県の考え方 (対応方針)
10	第3章 アクションプラン 2 行財政改革の取り組み 取組3 時代の変化に対応した県庁マネジメントの実践	時代の変化に対応していくためには、人材育成・組織体制づくりとともに、個々の業務のやり方を変革していく必要があると思います。その視点を追記した方がよいのではないのでしょうか。	1	【修正加筆等意見反映】 第3章アクションプラン 3行財政改革の取り組み 取組3時代の変化に対応した県庁マネジメントの実践に以下の語句を追加します。 「及び業務改善」
11	第2章 長期的展望 2 基本理念	『県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし』を掲げられ、「豊かさ」の追求を行政としても目指されている点が非常に良いと思います。 個々で「豊かさ」の追求に向けた行政の役割として、選択の妨げの要因排除、選択肢の提供が提示されており、共感するところであり、県庁だけでは実現なかなか難しく、様々なステークホルダーの参画が非常に重要かと思えます。また、記載のとおり、主体的に参画してもらう人たちをいかに増やしていくかという活動・取り組みが難しいですが、重要と思えますので、今後、ご検討いただけると幸いです。	1	【実施段階検討】 第2章長期的展望 2基本理念において、「県民はもちろん、市町村、関係団体、民間企業、NPO、教育・研究機関等、県内外を問わず、社会を支える全てのステークホルダーの方々が主体的に参画していただく機会と機運を確保していく」としており、そのための施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
12	第2章 長期的展望 2 基本理念	『「開の国」づくり』について、交通体系の整備だけでなく、多様な人々が集い活躍できる社会づくりを進められることに賛成です。山梨県は資料にありますとおり、人口が我が国の中でも少ない地域ですが、人口規模の大きな東京・神奈川等の地域に近いというのは非常にメリットと感じており、「やまなし」の良いところをどんどん発信して、ヒト・モノ・カネ・情報を惹きつけるような開の国づくりを進めていただきたいと思います。	1	【実施段階検討】 第3章アクションプラン 戦略3 開かれた「やまなし」へ集う道 政策2「自然首都圏」創出のための基盤整備において、県内へのひとの流れを強化することとしており、そのための施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
13	第2章 長期展望 3 2040年の山梨県の将来像 (2) 活力ある「やまなし」	最後の「○」のリスクリングについて、人口減少の中、一人ひとりの生産性向上に向けた取組の重要性を感じるころであります。リスクリングの機会があってもなかなか時間を確保することが難しいこともあるかと思えます。育児に仕事に時間がない中でのリスクリングは、企業等の理解なども必要であり、柔軟に働ける世の中になっていくとリスクリングの機会を活用しやすくなるかと思えます。	1	【実施段階検討】 リスクリングの機会の提供は、労使が目的意識を共有する中で行うことが重要だと考えており、こうした環境の整備に向けた取り組みも含めて行うこととしております。 時間の制約がある方々も利用しやすい方法等については、今後の施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
14	第2章 長期展望 3 2040年の山梨県の将来像 (3) 開かれた「やまなし」	「スーパーメガリージョン」の一部になり東京圏、名古屋圏、関西圏で結ばれる大都市圏に含まれることは開かれた「やまなし」に向けて良い機会になるのかと思えます。山梨らしい、山梨の特徴・魅力に惹かれて選ばれることが必要かと思えます。例えば、サテライトオフィスも山梨だけではなく、他の地域にもありますし、取り組みをされているかと思えますので、山梨のサテライトオフィスに行きたいと思ってもらうこと必要かと思いました。	1	【実施段階検討】 第3章アクションプラン 3計画の推進 (1)まち・ひと・しごと創生総合戦略としての取り組み 基本目標2やまなしへの新しいひとの流れをつくるにおいて、「リニア中央新幹線の開業を絶好の機会として、本県の豊かな自然、特色ある農産物や観光資源といった魅力を最大限活用し、企業誘致や誘客を推進するとともに、若年層を中心としたUターン・Iターンを促して本県への移住・定住を支援することや、都市在住者の「やまなし」への関心と愛着を育む」としており、そのための施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
15	第3章 アクションプラン 1 基本理念実現のための政策体系 戦略1 強靱な「やまなし」を創る道 政策3 地域経済基盤の強靱化	我が国において、99.7%が中小企業であり、本県においても中小企業・小規模企業が多い企業構造かと思えます。 大手企業などの支援や医療・水素等の成長産業の支援も重要かと思えますが、併せて中小企業・小規模企業への支援も重要かと思えます。今後、人手不足がより深刻化する中で、経営資源の余剰が少ない中小企業・小規模企業をいかに元気に事業を行ってもらうかは、県全体の豊かさにも直結するようにも感じます。 中小企業・小規模企業の支援も取り組まれていることは承知しておりますが、更なる取り組みの検討を期待しております。	1	【実施段階検討】 県では、中小企業の経営革新やデジタル変革に向けた専門家派遣による伴走支援や事業承継の促進等の施策を展開してきたところですが、今後も県内企業が競争力を維持し、高付加価値な製品・サービスを提供していけるよう対応して参ります。 また、起業・創業や事業継承、経営多角化、研究開発、環境対策等に加え、新型コロナウイルス感染症の影響や原材料価格高騰等により悪化した資金繰りを支援するなど、中小企業者の様々なニーズに応じた融資メニューを提供し、金融面から支援を行っています。 更なる取り組みについては、今後、検討して参ります。

No.	箇所	意見の内容	意見数	意見に対する県の考え方 (対応方針)
16	第3章 アクションプラン 1 基本理念実現のための政策体系 戦略2 活力ある「やまなし」を育む道 政策5 地域を担う人材づくり	基本理念にもあります「豊かさ」の実現に向けては、個々人の自己実現がどれだけできるかという観点が必要かと思 います。 自己実現を図るために、若者が県外に流出しているのかもしれないので、県内での仕事で「やりがい」の発信や 「自己実現」ができるという事例を発信することも重要かと思 います。 経営資源の余剰が少ない中小企業等では、人材を確保することが非常に難しくなっている中で、人材の流出は 極めて厳しい状況だと思 いますので、さらなる取り組みを期待しております。	1	【実施段階検討】 第3章アクションプラン 戦略2活力ある「やまなし」をはぐくむ 道 政策5地域を担う人材づくりにおいて、「県内の魅力的 な企業や山梨で働く魅力を周知し、県内での就職やUター ン・Iターンを促す」こととしており、山梨で働くことで得られる 「やりがい」や「自己実現」に関する情報発信については、 今後の施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
17	第3章 アクションプラン 1 基本理念実現のための政策体系 戦略5 先進地「やまなし」を叶える道 政策1 地域経済の収益向上	起業・創業の促進とともに、既存企業が新分野への取り組みをしやすいような環境整備を引き続きご検討いただ けることを期待しております。 起業・創業や既存企業の新分野進出等を実施するためには、県だけでなく、支援機関のサポートはもちろん、企 業の人材が非常に重要かと思 います。産業人材については、技術的な人材だけでなく、経営人材も含めた養成 が重要かと思 います。 また、地域産業と先端技術の組み合わせで「やまなし」らしいブランド製品等を形づくるチャレンジができると面白 いと感じます。	1	【実施段階検討】 起業・創業や新事業展開の支援については、事業の立ち 上げにかかる資金の支援、専門家による伴走支援など、企 業の状況に応じたきめ細かな支援を行っております。 加えて、新事業展開のためスタートアップなどの他企業と協 業したい県内企業に対し、そのマッチング支援と事業化に 向けての専門家による伴走支援を行うための拠点を整備す ることとしており、ここを中核に様々な支援機関や企業団体 と連携して、支援体制を構築するなかで、経営人材も含め た養成についても検討して参ります。 また、産業技術センターでは、地場産品に先端技術を組み 合わせた製品開発を支援しており、今後、支援体制をより 強化するための機器整備などを進めて参ります。
18	計画全般	全般的にどれも必要に思える計画となっています。 しかしながら、総花的な印象で、すべてを同様に注力しても良い結果がでるようとは考えにくいです。 いずれかの政策にしっかり重み付けをして注力する明確な方針を県内外に示して、結果を出していくのが良いの では？	1	【記述済み】 第2章長期的展望 2基本理念において、「豊かさ」とは、 「人それぞれで異なる幸福を得るため、それぞれの方が自 分なりに選び、歩みを進めていけること」を追求した先にあ るべき」としており、「豊かさ」の追求において行政の果た すべき役割として、県民の自由な選択を妨げる要因をでき る限り取り除いていくこと、「希望」を持って自分らしい道 を進むことができるよう、できる限り多くの、そして豊かな選 択肢を提供すること」としてあります。 その上で「行政がこの役割をしっかりと果たす過程にあつて は、県民はもちろん、市町村、関係団体、民間企業、NPO、 教育・研究機関等、県内外を問わず、社会を支えるすべて のステークホルダーの方々が主体的に参画していただく機 会と機運を確保し」、「多様な個性が「山梨の豊かさづくり」 に共に参画する「集合知」の発揮により、「豊かさをもれなく 届けられるふるさと」を構築すべく取り組みを進め」て参り ます。
19	第2章 長期的展望 1 時代の潮流と山梨県の現状 (1)人口減少	当面はもちろん、将来的にも人口減少は続くし、まず増加に転じることはないと考えられます。 そこで、人口が減少することを前提とした『県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし』となる計画をしっかりと ていただきたい。	1	【その他】 第2章長期的展望 3 2040年の山梨県の将来像 (6)人口の 将来展望(人口ビジョン)において、「当面の大きな流れとし ては人口減少傾向が続いていくことは避けられない」旨を 記載しています。 本県においても、全国と同様に合計特殊出生率の低下傾 向となっておりますが、ようやくコロナ禍を脱して日常を取り戻 しつつある今、この下降トレンドを上昇へと転換させるため、 県では令和5年を「人口減少危機突破元年」として、抜本 的・集中的な取り組みのスタートの年としています。 総合計画に位置付ける全ての施策の推進により人口減少 対策の効果を上げられるよう務めることとしており、本計画 に記載している「政策課題への対応の効果が発現した場合 には、人口の急減や極端な高齢化は回避され、年少人口 及び生産年齢人口の割合が増加に転じ、長期的には人口 規模及び人口構成は安定的に推移していく」と展望してい ます。

No.	箇所	意見の内容	意見数	意見に対する県の考え方 (対応方針)
20	第3章 アクションプラン 1 基本理念実現のための政策体系 戦略5 先進地「やまなし」を叶える道	とてもいいですし、必要なことです。そのための抜本的な施策を具体的に示していただけるといいと思います。	1	【その他】 最終的な計画においては、具体的な取り組みである施策についても記載する予定であり、その中で具体的に記述いたします。
21	第3章 アクションプラン 1 基本理念実現のための政策体系 戦略2 活力ある「やまなし」を育む道 政策5 地域を担う人材づくり	社会移動で20歳代前半の転出が大幅な超過となっている現状において、とても重要な視点だと思います。大学生の県内就職を増やすためには、魅力的な就職先をつくること、魅力的な就職先があることを知ってもらうことの両方が必要です。前者については魅力的な企業の創造が根本的に必要ですので、起業支援を積極的に行い、山梨で起業することのメリットを大胆に提供すること、魅力的な企業が山梨に移転することのメリットを大胆に提供することと思います。後者については大学と連携して現在山梨大学や県立大学が行っているフューチャーサーチなどの取組を連携して大々的に行うのもいいかと思えます。県内学生が山梨県内で就職すると一定期間補助が得られる、山梨県内就職を条件に学費の減免制度、県内起業で金銭的な支援など、学生や若者にとって県内に残ることが魅力的になる取組が必要かと思えます。県内就職+県内での副業的な起業など多様な働き方を当たり前目指せる環境整備が欲しいです。必要なのは大胆な取組で、山梨で就職したり起業することが山梨で暮らすこととあわせて、カッコイイことになることを目指したいですね。	1	【実施段階検討】 第3章アクションプラン 戦略2 活力ある「やまなし」をはぐくむ道 政策5 地域を担う人材づくりにおいて、山梨で働き暮らす魅力の情報発信を行うこととしており、今年度は、県内大学等が実施している「フューチャーサーチ」の取り組みであるMiraiプロジェクトに参加し、学生に参画いただく中で、学生目線で県内企業や山梨で働くことの魅力を情報発信することとしております。若者の県外転出を抑制して産業力を維持、向上していくため、学生や若者にとって県内に残ることが魅力的になる取組や起業を志す若者育成の環境整備などについては、今後の施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
22	第2章 長期的展望 1 時代の潮流と山梨県の現状 (4)新興感染症や大規模災害への備え	県外との利用力協定を積極的に進めていくべき。	1	【その他】 災害応急対策を実施するため必要があると認めるときは、全国知事会において締結している「災害時の広域応援に関する協定」及び関東地方知事会を構成する山梨県、東京都、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県、静岡県及び長野県で締結している「災害時等における相互応援に関する協定」等に基づき、他の都道府県に対し必要な応援を要請いたします。
23	第2章 長期展望 3 2040年の山梨県の将来像 (5) 先進地「やまなし」 第3章 アクションプラン 1 基本理念実現のための政策体系 戦略1 強靱な「やまなし」を創る道 政策3 地域経済基盤の強靱化	水素関連のエネルギー産業で山梨大学の理系学部との産学連携を強化していくべきではないか	1	【その他】 山梨大学とは水素・燃料電池ナノ材料研究センターや水素・燃料電池技術支援室などと連携し、県内企業への技術支援や人材養成などを行っているところです。引き続き、県内企業のニーズに応じたきめ細かな支援ができるよう、連携を密にして参ります。
24	第3章 アクションプラン 1 基本理念実現のための政策体系 戦略3 開かれた「やまなし」へ集う道 政策1 海と空に開かれた「開の国」交通ネットワークの充実	リニアによる山梨県への効果を明確にして議論を進めていくべき。	1	【記述済み】 本県では、リニア中央新幹線の開業を契機として確実に山梨に富を呼び込み、県民生活の豊かさに直結させていくための指針である「リニアやまなしビジョン」を令和2年3月に策定しました。第2章 長期的展望 3 2040年の山梨県の将来像 (3)開かれた「やまなし」において、「県内各地がリニア駅を經由して国内外と容易にアクセスできるようになっている」、また、(5)先進地「やまなし」において、「リニア中央新幹線により東京圏と30分以内で結ばれている立地条件を生かして、医療機器関連産業や水素・燃料電池関連産業が集積するとともに、IoTやヘルスケア関連のベンチャー企業等が立地している」旨を記載しており、リニア開業効果の最大化に向けた取り組みをオール山梨で進めて参ります。